

田坂具隆監督特集

田坂具隆（1902～74）監督は、「真実一路」や「路傍の石」といった山本有三の小説を映画化した文芸作品から、戦時下にあつて「五人の斥候兵」や「土と兵隊」といった異色の戦争映画をへて、「五番町夕霧楼」や「湖の琴」といった水上文学の映画化作品にいたるまで一貫して常に人間を善意の目でみつめ、いかなる人間にもその良きを見出そうとする真摯な態度での映画作りに終始された映画作家だといわれています。往年の日活にあつて村田実、溝口健二監督に続く世代として内田吐夢監督と共に数々の優れた作品を作られた田坂監督には、良きライバルである内田監督にくらべて取上げる素材も作風も地味で人目を惹くものは少ないが、それだけ、いかなる場合でも自己を失わない誠実さに溢れ、観る者の心にしみじみとしたものを伝えずにはおかない作品が多いというのが定評になっています。

このたびフィルムセンターでは、「五人の斥候兵」から遺作の「スクラップ集団」まで現存するトーキー作品22本に、唯一のサイレント映画「愛の町」を加えた田坂監督作品23本を《田坂具隆監督特集》として連続上映することにいたしました。田坂作品の優れた作風を再認識するに絶好の機会と思われまますので、単に田坂作品研究の方のみならず、広く日本映画を愛好する皆様方の御鑑賞をお勧めいたします。

1979年2月 フィルムセンター

* 日・祝日は休館。開映は午後3時・6時15分の2回（先着順にて定員239名に達し次第締め切ります。開館は12時30分）
★印の2月24日、3月10日、17日、24日の土曜日は1時・5時開映。 一般200円、学生140円、小人100円

期	日	題名	製作年	出演者
2月	20日(火)	愛の町 (78分)	日活・1928年	夏川静江、南部章三、三樹豊、見明凡太郎
	21日(水)	五人の斥候兵 (73分)	〃・1937年	小杉勇、見明凡太郎、伊沢一郎、井染四郎、星ひかる
	22日(木)	路傍の石 (124分)	〃・1938年	小杉勇、片山明彦、山本礼三郎、滝花久子、沢村貞子
	23日(金)	爆音 (84分)	〃・1939年	小杉勇、轟夕起子、片山明彦、花柳小菊、東勇路
	24日(土)	★陽のあたる坂道 (189分)	〃・1958年	石原裕次郎、北原三枝、芦川いづみ、川地民夫
	26日(月)	土と兵隊 (120分)	〃・1939年	小杉勇、井染四郎、菊池良一、長尾敏之助、井上敏正
	27日(火)	海軍 (86分)	松竹・1943年	山内明、志村久、小杉勇、水戸光子、風見章子
	28日(水)	どぶろくの辰 (86分)	大映・1949年	辰巳柳太郎、入江たか子、水戸光子、菅井一郎
3月	1日(木)	雪割草 (100分)	〃・1951年	宇佐美淳、三条美紀、水戸光子、伊庭輝男
	2日(金)	長崎の歌は忘れじ (131分)	〃・1952年	京マチ子、A・ロールマン、山内明、久我美子
	3日(土)、5日(月)	女中っ子 (140分)	日活・1955年	左幸子、伊庭輝男、轟夕起子、佐野周二、宍戸錠
	6日(火)、7日(水)	乳母車 (110分)	〃・1956年	芦川いづみ、石原裕次郎、新珠三千代、山根寿子
	8日(木)	今日のいのち (156分)	〃・1957年	石原裕次郎、北原三枝、津川雅彦、浅丘ルリ子
	9日(金)	若い川の流れ (126分)	〃・1959年	石原裕次郎、北原三枝、芦川いづみ、川地民夫
	10日(土)	★ちいさこべ (174分)	東映・1962年	中村錦之助、江利チエミ、中村賀津雄、桜町弘子
	12日(月)	親鸞 (151分)	〃・1960年	中村錦之助、吉川博子、中村賀津雄、木暮実千代
	13日(火)	続親鸞 (130分)	〃・〃年	〃、〃、〃、〃
	14日(水)、15日(木)	はだかっ子 (145分)	〃・1961年	有馬稲子、木暮実千代、伊藤敏孝、三国連太郎、千秋実
	16日(金)、19日(月)	五番町夕霧楼 (137分)	〃・1963年	佐久間良子、河原崎長一郎、木暮実千代、岩崎加根子
	17日(土)	★鮫 (170分)	〃・1964年	中村錦之助、三田佳子、風見章子、木暮実千代、千秋実
	20日(火)、22日(木)	湖の琴 (129分)	〃・1966年	佐久間良子、中村賀津雄、中村鴈治郎、千秋実
	23日(金)	スクラップ集団 (106分)	松竹・1968年	渥美清、露口茂、笠智衆、滝花久子、小沢昭一、三木のり平
	24日(土)	★冷飯とおさんとちゃん (177分)	東映・1965年	中村錦之助、入江若葉、新珠三千代、森光子、小沢昭一

東京国立近代美術館フィルムセンター 中央区京橋3-7-6 地下鉄・京橋(銀座線)、宝町(都営一号線)下車 ☎(561) 0823

竹橋・美術館 2月3日～3月25日まで 「新収蔵美術作品の展示」

〃・工芸館 1月20日～3月25日まで 「近代日本の色絵磁器」